

株式会社コーセー 2009 年度 新入社員入社式を開催

株式会社コーセーは、4月1日東京・日本橋の本社において「2009年度新入社員入社式」を行いました。式典には今年度の総合職採用52名(男性34名女性18名)が出席し、幹部役員の紹介の後、小林一俊社長から次のようなメッセージが贈られました。

社長挨拶(要旨)

入社おめでとうございます。今年の新入社員の皆さんは二つの意味で幸運に恵まれていることをまずはお伝えしたい。

ひとつは、この恐慌ともいべき厳しい経済状況の中でも比較的堅調に推移し、しかも世の中を明るくする化粧品業界を選び、さらに業界内でもチャレンジャーとしての立場にある当社を選ばれたこと。もうひとつは、いずれも昨年落成した新たな本社と研修センターで迎える初めての新人であること。



現在は、これまでの常識や前提が通用しない「高リスク社会」とでもいう状況。これに加え、昨年来米国に端を発した経済不安は、国内の一般消費行動にも大きな影響を及ぼし始めた。化粧品業界においてもこれまで以上に競争は厳しくなるが、これはピンチではなく、チャンスととらえるべきである。

コーセーは現在、全社一丸となって改革に取り組んでいる。我々のもつ本来の強みを見極め、それをより一層研ぎ澄ませつつ、これまでのやり方を思い切って変えていくことも必要で、まさに我々にも「チェンジ」が求められている。このような状況に入社された皆さんには、次の二つのことを期待したい。

まずは「チャレンジ精神」。若い皆さんだからこそ、我々や、業界のもつこれまでの習慣・常識にとらわれない斬新な発想を活かして欲しい。先程も触れたとおり、我々は業界ではチャレンジャーという立場であり、皆さんはそのチャレンジ精神を率先して体現する存在であってほしい。

もうひとつは「自分を磨く」ということ。当社に憧れて入社し、愛社精神をもって働くことは大切だが、それはコーセーという看板やブランドに頼ることとは違う。まずは自分自身を磨くことで、新たなコーセー像を自分が創っていくという気概を持って業務に取り組んで欲しい。

この2つを常に胸に抱きながら、今日からコーセーの一員として、新たな未来を切り開いていただきたい。

※ 今年度の美容スタッフ職採用は156名、入社式は研修プログラムに合わせて3月16日、23日の2回分けて東京・王子のコーセー研修センターにて行いました。